



そろばん継手 施工要領書

一般配管用ステンレス鋼管

13Su~60Su

施工前に必ず お読み下さい。

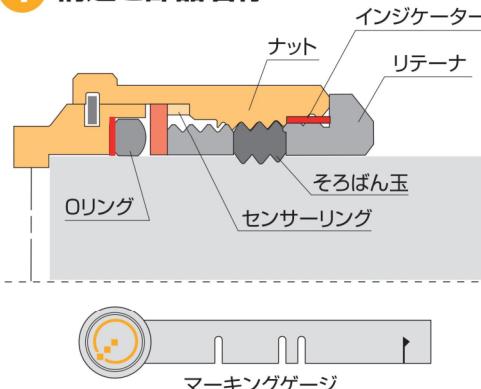


取扱いを誤った場合に、危険な状況が起りえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性、及び物的損害の発生が想定される場合。



取扱いを誤った場合に、所定の機能が発揮されず、トラブルの発生が想定される場合。

1 構造と部品名称



2 管の切断

バンドソー、メタルソー、ローラーカッターなどで管に直角に切断して下さい。



高速砥石切断、溶断は禁止です。

3 管の面取り

- ①外面取り／リーマやヤスリ等で0.5C程度の面取りを行って下さい。
- ②内面取り／内面のカエリを除去して下さい。

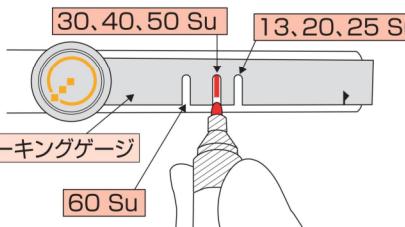
[外面取り]



注意 外面取りが無い場合、パッキンを損傷したり、差込不足を起し、漏水発生の恐れがあります。

4 マーキング(標線記入) 重要

マーキングゲージを使用し、管に差し込み標線を必ず記入して下さい。



サイズ(Su)	13, 20, 25	30, 40, 50	60
標線位置	管端から43mm	管端から46mm	管端から70mm

5 継手の確認事項

リテナー：
正しくセットされていること。^{注1)}
ソロバン玉が脱落していないこと。^{注2)}

継手内部：
Oリングに傷がないこと。
異物などが付着していないこと。

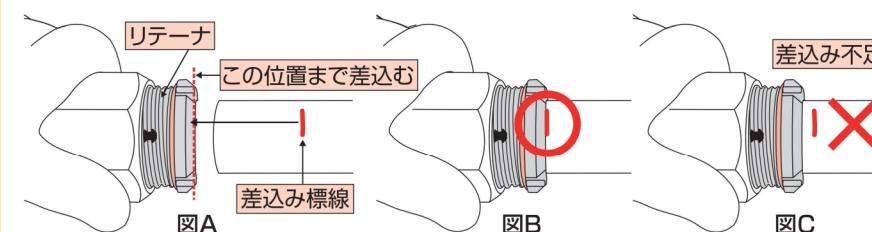
注意 センサーリングは施工不具合検知の部品です。
手をふれないで下さい。

^{注1)} : リテナーが斜めになっている場合は、リテナーを外して、正しくねじ込み直して下さい。

^{注2)} : 脱落の場合はリテナーを新品に交換して下さい。

6 管の差込み

- ①継手のリテナーを外さずに管は真っ直ぐに差し込みして下さい。
- ②標線が隠れるまで、完全に差し込みして下さい。(図B参照)



注意 リテナーを外しての差し込みは禁止です。
センサーリングを押し込み、機能障害の恐れがあります。

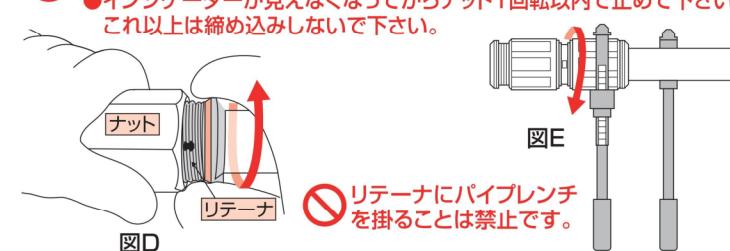
- 注意**
- 斜め差し込みはOリングを損傷し、漏れの恐れがあります。
 - 管が継手に差し込めない場合は、リテナーを少し、ねじ戻して下さい。

7 手締め、ナット締め込み

- ①ナットを掴み、リテナーを矢印の方向に手締めして下さい。(図D参照)
- ②続けて管とナットにレンチを掛けて、ナットを矢印の方向に紫色のインジケーターが見えなくなるまで締め込みして下さい。(図E参照)

注意

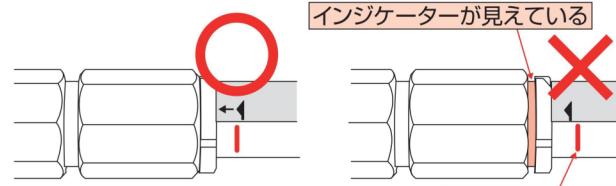
- 手締め状態での放置はナット締め忘れにつながるので、厳禁です。
- インジケーターが見えなくなつてからナット1回転以内で止めて下さい。これ以上は締め込みしないで下さい。



注意 リテナーにパイプレンチを掛けることは禁止です。

8 完了確認事項

- ①紫色のインジケーターが見えなくなっていること。
- ②標線の位置がマーキングゲージの旗印以内であること。



注意 旗印を越えている場合は、再施工して下さい。
インジケーターが見えている場合はナットを増し締めして下さい。

9 再施工の手順

- ①ナットを緩め、管を外して下さい。
- ②継手内部の異物は除去して下さい。
- ③リテナーを新品と交換して下さい。
- ④継手に異常がある場合は新品に交換して下さい。
- ⑤管の転造ねじ部を切削して下さい。(下図参照)
- ⑥切削以降、施工要領書に従い、施工して下さい。



漏れを発見した場合の対処法

- ①ナット締め忘れの場合(そろばん継手はナット締め忘れ箇所が漏れる構造になっています)
 - 漏れ箇所の確認
 - 配管内の圧力をゼロに落す
重要
 - 漏れ箇所の継手のナット締め付けをする
 - インジケーターと標線で施工完了確認をする
 - 水圧試験(空気圧試験)で漏れ箇所を再度確認する

- ②他の場合、再施工して下さい。
ナットを増し締めしても漏れを止めることは出来ません。

注意 なお、再施工時は、ナット締め忘れを検知する機能はありません。ご注意下さい。

初めてご使用の方には
施工講習会を実施していますので、
弊社までご相談下さい。



////// 東尾メック株式会社
〒586-0012 大阪府河内長野市菊水町8番22号
TEL:0721-53-2281(代) FAX:0721-53-2279

施工要領の確認（禁止事項）

氏名

年 月 日

	 禁止事項	理由	要領書番号	チェック✓	MEMO
I	高速砥石切断機・溶断で管を切断すること	管端面の扁平、傷付きにてOリングを損傷させる恐れがある	2		
II	SU管の外面取りが無いこと	Oリングを傷付けて漏れの起きる恐れがある	3		
III	差込標線が無いままSU管を差込むこと	差込不足の異常が発見出来ず、漏れの起きる恐れがある	4		
IV	リテーナのそろばん玉の脱落品を使用すること	継手性能不足により脱管の恐れがある	5		
V	紫色のインジケーターが見える状態で放置すること	継手性能不足により脱管の恐れがある [万一の場合に備え検知機能を装備しています]	6		
VI	インジケーターが見えなくなつてから1回転以上過剰に締込むこと	継手性能不足により脱管の恐れがある	7		
VII	標線の位置が旗印を越えている状態で放置すること	標準施工されていないので、漏れや、脱管の恐れがある	8		
VIII	リテーナを再使用すること	継手性能不足により脱管・漏れが起きる恐れがある。	9		